

■ 節電行動計画

(平成30年7月～9月)

施設名称	三浦合同庁舎(健康ぷらっと)	施設管理者	神奈川県	
健康ぷらっと(2階)	節電管理者	健康づくり課長	節電副管理者	健康づくり課小林GL
	節電管理者		節電副管理者	
	節電管理者		節電副管理者	

節電目標	神奈川県が取り組む節電対策に可能な限り協力します。	節電実績	
------	---------------------------	------	--

節電効果が期待できるアクションを実施します。

照明機器	執務室内の照明は適正な照度を保ちつつ、不要な蛍光灯等を削減します。(減灯率10%) 使用していないエリア(会議室、廊下等)の消灯を徹底します。 自然光で照度が賄える部分は消灯します。 共用部分の照明は安全対策を講じた上で間引き及び消灯します。 昼休み時間は一斉消灯します。(窓口業務を除く) 就業時間後は一斉消灯します。(特定日のみ) トイレ室内は原則使用時だけ点灯します。
空調	空調運転は、神奈川県が取り組む節電対策に可能な限り協力します。
OA機器	PC画面の明るさ設定を40%以下に設定します。 スクリーンセーバーや壁紙は禁止します。 2時間以上の離席時には、PCを「シャットダウン」します。 2時間以内の離席時には、PCを「スタンバイ」にします。 退庁時には電源アダプターのコンセントを抜きます。 待機電力が発生する周辺機器は使用時以外、電源オフにします。 庁舎内で見直しを行い、同一機器の使用台数を削減します。 夜間・休日などは電源オフを実施します。 印刷出力時は、縮小・複合・両面等で印刷枚数(稼働時間)を削減します。 ファックス受信は、電子メールを活用したメール受信に極力移行を依頼し、印刷出力を削減します。
その他機器	冷蔵庫は、庁舎内で合同使用とし、使用台数を削減します。 冷蔵庫の庫内温度を適切に設定(強→中)し、効率的に使用します。 庫内清掃、整理を行い、冷気循環を考慮した整頓をします。 冷蔵庫の無駄な開閉をやめます。 電気ポットは沸騰後、保温ポットに移し、使用後はコンセントから電源プラグを抜きます。

ワークスタイルによる節電対策を実施します。

職員行動	エレベーターの使用はできるだけ控えて、近くの階への昇降は階段を利用します。(2アップ、3ダウン) 庁内の会議時間は1時間以内に努めます。 夏期はクールビズ、冬期はウォームビズによる取組みを徹底します。 定時退庁日の実行徹底と、時間外勤務による電力消費を抑制します。 課単位でのチームとして業務効率を向上させ、全員定時退庁を目指します。 業務効率を維持しながら、年次休暇の計画的取得による電力消費を抑制します。
------	---

平成23年度の夏期に実践した節電行動を見直し、快適な執務環境を維持しながら、より効率的な節電を目指します。